

特集

# 第6回 新研修医 ウェルカム パーティー



この記事は、平成30年4月7日に開催された「第6回大阪府医師会新研修医ウェルカムパーティー」の様様をまとめたものです。



福田寛二・大阪府医師会理事（当時）

**福田** ただいまより、「第6回新研修医ウェルカムパーティー」を始めさせていただきます。私は、本日司会進行を務めます大阪府医師会勤務医担当理事の福田でございます。よろしくお願いいたします。

さて、研修医の2年間は、今後の臨床医としての基礎となる重要な期間になります。研修医の皆様は、これから医師として働くことについて、大きな不安を抱きながら日々を過ごされていると思います。本日は大阪府内の二次医療圏ごとにテーブルを分けています。同じテーブルに研修する地域の病院や医師会の先輩方がいらっしゃいますので、医師としての心得や地域医療とは何かなど、質問や相談をしていただき、親睦を図っていただければと思います。また、本日は参加されている新研修医の中から、インタビューにお答えいただくような企画も用意しております。ぜひご協力をお願いいたします。

それでは、初めに主催者を代表いたしまして、大阪府医師会長の茂松茂人よりごあいさつ申し上げますとともに、「日本の医療の現状」についてお話いたします。よろしくお



茂松茂人・府医会長

願いいたします。

## 主催者あいさつ

**茂松** 本日は研修中のお忙しい時期にもかかわらずたくさんお集まりいただき、ありがとうございます。新しい仲間を迎え、ひとりでも多くの患者さんの健康に寄り添えることを心強く、また頼もしく思っています。一方で治療を行うだけが医師の仕事ではありません。日本の医療の歴史や特徴も知った上で、より良い治療を行ってほしいと思います。

まず、日本の医療費ですが、OECD加盟国の中でも低い水準であることが示されています。国民皆保険制度の下、患者さんが受診しやすい環境が醸成されており、早期発見・早期治療につながっていることが要因と考えられています。戦後、我が国は著しい経済発展を遂げましたが、昭和48年のオイルショックを契機に景気が低迷します。好況下では税収を十分確保できるため、充実した社会保障政策を展開できますが、低成長期には安定した財源が充当されず、社会の「負担感」が大き



くなります。そのような折、58年に当時の厚生省官僚より「医療費亡国論」という論文が公表されました。医療費の増大が国を滅ぼすという主張です。以降、それを基にした医療費抑制策が現在まで連綿と続いています。

医療政策は経済と密接に関係していることがご理解いただけたかと思います。現在の安倍晋三政権の下では、プライマリーバランスの黒字化が最優先課題とされ、医療を含めた社会保障への予算が十分に確保されていません。「国民の健康や命が脅かされる」と言っても過言ではない状況になっています。一方で、家計の金融資産は世界のトップレベルにあり、企業の内部留保は400兆円を超え、更に増大傾向にあります。しかし、消費は伸びていません。その背景には、やはり「将来に対する不安」があるのではないかと考えています。国民は将来に備えて消費を控えますし、企業も剰余金を給与等へ充当することに消極的になっているのではないのでしょうか。国民の不安を解消し、消費を増やすためには、「社会保障を充実させること」が非常に大切となります。

現在の成熟した社会では、大きな経済成長は見込めません。このため、限られた資源の中でいかに効率よく医療を提供できるかが大きな課題になっています。こうした状況で患者さんに寄り添った地域医療を行うためには何をすべきか。地域の実情に応じた地域医療提供体制を構築し、地域住民が住み慣れた地域で安心して暮らせる街づくりが重要になります。患者さんがご自宅で最期を迎えたいと希望されれば、それを支えるために在宅医療の充実が求められます。医師のみならず、医療・介護・福祉など多くの職種が連携するこ

とが大切になります。医師会は、適切な医療提供体制が構築できるよう、地域医療構想調整会議をはじめ、様々な場で提言しています。また、これからは健康寿命を延伸させる取り組みもますます重要になります。診療の中でも予防的側面を重視した対応が求められると予測しています。今後もすべての住民が安心して生活できる社会を目指し、行政と車の両輪となって活動してまいります。医療の将来を担う先生方も、地域包括ケアシステムの中でしっかりとそれぞれの役割を果たしていただければ幸いです。

## プレゼンテーション

**福田** ここからは、府医の関連団体である大阪府医師協同組合、大阪府医師信用組合、および皆様が大阪府医師会に入会すると加入することになります府医勤務医部会について紹介します。



朝日輝夫・大阪府医師協同組合専務理事

**朝日** 大阪府医師協同組合は、昭和29年に府医の福利厚生を担う団体として誕生いたし

ました。現在では、大きく分類して、「購買」「保険」「福利厚生」「教育情報提供」——の4事業を通じて組合員のサポートをしています。医師である役員がすべての事業をチェックし、生活面から支援できるよう努めています。



深見達雄・大阪府医師信用組合専務理事

**深見** 大阪府医師信用組合は、昭和26年3月23日の第16回府医定例代議員会で設立が決議され、誕生しました。「相互扶助」を理念とした専門金融機関として活動しています。研修医の皆様には、幅広い活用が可能な「研修医応援ローン」を用意しています。様々な視点から応援していきたいと考えています。

**幸原** 医師会の活動というのは、はっきりと形に表れにくいことが多いです。入会しなければ見えにくい部分も多々ありますが、端的に申しますと、「医師が適切な環境で診療に従事できるよう支えている」ということになると思います。府医勤務医部会では、これまでに女性医師支援や勤務医の働き方など、時宜に応じた適切な協議をしてまいりました。



幸原晴彦・府医勤務医部会副部長

た。医師会へ入会した折には、勤務環境の更なる向上に力を貸していただければ幸いです。

**福田** 皆様、ご丁寧な説明をありがとうございました。

続きまして、澤芳樹・府医勤務医部会長より一言お願いします。



澤芳樹・府医勤務医部会長（府医副会長）

**澤** 皆様、こんばんは。医師として研修が始まり、大変な時期だと思います。この場で

は少し、自分の経験をお話いたします。皆様は大学で多くの医学的な知識を得られ、患者さんに伝えたいと考えているのではないのでしょうか。確かに、それが医師の本業ですが、あまり自分の考えに固執しすぎるのは良くありません。「先輩医師の助言を聞かない」「看護師や他の職種の方と協力しない」——そうした方は必ずと言っていいほど、不要なトラブルを起こしています。周囲と協力し、素直にアドバイスを受け入れることが大切だと思います。更に言いますと、先輩達はパターン認識ではなく、個々の患者さんを柔軟な姿勢で診察しています。これからはリアルワークの中で経験を積み、「人を救える医師」になってほしいと思います。

**福田** では、これよりしばらく歓談をお楽しみください。本日は日本医師会から松原謙二副会長がいらっしゃっていますので、一言ごあいさつをいただきます。また、この場を

お借りして医師賠償責任保険について、担当理事よりお話しさせていただきます。



松原謙二・日本医師会副会長

**松原** 幸原・府医勤務医部会副部長のごあいさつにもありましたが、医師会の活動は、なかなか明確な形で表すことが難しいです。日医では、患者さんにとって最適な医療が提供できるよう考え、政策を提言していま



加納康至・府医副会長が乾杯発声



す。関心が高まっている「新たな専門医の仕組み」ですが、これにつきましても、医師・国民にとって分かりやすい制度となるよう、尽力しているところです。



笠原幹司・府医理事

**笠原** 医療技術が進歩する中、求められる医療の質も変わってきております。安心して医療活動に専念していただけるよう、研修医でも日医に入会することで医師賠償責任保険

の被保険者となることができます。心強い存在となるはずです。

## 研修医とのトークイベント

**福田** それでは、冒頭お伝えいたしましたように、ご出席の新研修医の方のお話を伺いたと思います。

会場から選ばれた4名の先生方、ご登壇ください。

最初に自己紹介からお願いし、インタビューを進めてまいります。

——スクリーンに映っておられる方（写真右）はどなたでしょうか？



**新研修医D** はい、副会長。

**新研修医A** 福田先生？

**新研修医B** ちょっと分らないです。

**新研修医C** 医師会長の、「しげしげ先



生」。(茂松会長が握手) ありがとうございます。

**福田** Cさんが正解です。将来医師会長になっているかもしれません。もう一度拍手をお願いします。

**茂松** これは私が大学でバレーボールをしていた時の写真です。近畿医師会バレーボール大会で優勝した時の写真です。

**福田** クラブ活動の話が出たところで、皆さんの学生時代のクラブ活動をお聞きしたいと思います。

- A バドミントン部です。
- B 卓球部です。
- C 相撲部です。
- D 剣道部でした。

——それでは、次の質問です。学生時代に最も印象に残った出来事は？

- A 海外実習でアメリカに行かせていただいたことです。
- B 英語のテストで苦労したことです。
- C 帰りのタクシーで同乗した先輩医師です。
- D 初めて留年が決まった時です。初めだけショックでした。

——不安や疑問に感じていることは？

- A 医師としてのトレーニング期間と、結婚・出産といったライフイベントの時期が重なった時にどうすればよいのか……。

**福田** このお悩みにお答えできる先生はいらっしゃいませんか。



新研修医約290人が参加



田村信司・箕面市立病院総長

**田村** 実際そういう方もいらっしゃいます。ある方は2年間で研修を終えたいと、がんばっておられました。一方で、個人のニーズもあります。先程も申しましたが、府医勤務医部会で色々と協議し、特に産休・育休に関しては多くの病院で対応ができるような体制となりました。安心して研修に励んでください。

**福田** そのほか、何かありませんか。

**B** 採血の実習があったのですが、うまくできませんでした。この先大丈夫なのかと不安に思っています。

**C** 本日の答弁で将来が不安です……。

**D** 世間では「働き方改革」が話題となっていますが、賃金をもらって研修させていただくので、しっかりと取り組みたいと思っています。ただし、体がついていけるかどうか心配です。

**福田** 様々な意見をいただきました。臨床について必要なことを学ぶ大切な機会です。

体調に気を付けて取り組んでください。ところで、皆さんは自動車を持っておられますか？ またどのような車種がほしいですか？

**C** 国産のスポーツタイプの車に乗りたいなど。

**福田** 医師信用組合さん、いかがでしょうか？

**深見** 医師会に入会されましたら融資のお話もできますので、それなりの対応ができるかと思います。

**福田** 最後の質問になります。将来どんな医師になりたいですか？

**A** 患者さんに信頼してもらえる医師になりたいと思います。

**B** 「この先生に診てもらいたい」と言ってもらえるような医師になりたいです。

**C** 医師会の会長になれるようなドクターになればいいなと思っています。

**D** こういう素敵な同期を大切にし、熱い思いを持った医師になりたいと思います。





**福田** 皆様にもう一度盛大な拍手をお願いします。

**茂松** 本日は誠にありがとうございました。皆様の代表で来ていただいて、的確なご意見をいただきました。これからもがんばっていただきますよう、よろしくお願いいたします。

## 閉会あいさつ

**中尾** 本格的に研修が始まり、大変な時期にもかかわらず、ご参加いただきまして、感謝申し上げます。医師会としても皆様を精いっぱい支えられるよう努めてまいります。ぜひ、新しい力をお貸しいただければと思って



中尾正俊・府医副会長

います。これからの活躍を祈念し、閉会のあいさつとさせていただきます。本日はありがとうございました。

(文責：広報委員会)



登壇者らと記念撮影